

第五講 農耕の起源

常木晃編、「序章 農耕誕生」『現代の考古学 3 食糧生産社会の考古学』
朝倉書店、1999年、1-21頁 (一部文言改変)

世界の各地で狩猟採集民が野生種の植物を栽培種化
食糧生産社会の開始・・・人類史上の大変化(食糧獲得者→食糧生産者)
農耕は1万年前にアジア大陸の西と東の片隅より始まる

植物栽培の3段階 リンドスの分類

付随的栽培・・・人類誕生以前から存在

専門的栽培・・・晩氷期から本格化した定住性の高まりとともに出現
(例・縄文時代のクリ)

農耕的栽培・・・伝播でなく、7つの地域でそれぞれ独自に発生

農業の第一次発生地域

西アジア：前8000年頃～

コムギ・オオムギ・エンドウマメ・ソラマメ・ヒヨコマメ
ブタ・ヒツジ・ウシ・ヤギ

長江流域：前8000年頃～

イネ・ヒシ・ヒョウタン
(ブタ)・スイギュウ

黄河流域：前7000年頃～

アワ・キビ
(ブタ)・ニワトリ

サブ・サハラ：前2000年頃～

シコクビエ・モロコシ・アフリカイネ
(ウシ)

メキシコ中部：前3000年頃～

トウモロコシ・リマビーン・カボチャ

アンデス：前3000年頃～

キヌア・ジャガイモ・(トウモロコシ・リマビーン・カボ)

チャ)

リヤマ・アルパカ・ギニアピッグ

アメリカ東部：前 3000 年頃～

ペポカボチャ・ヒマワリ・ベルランディエリ=アカザ・マ
ーシュ=エルダー

A. 近接モデル

人間と野生種（植物）の近接

農耕の開始：野生種の栽培種化

1. オアシス・セオリー

チャイルド

新石器革命：磨製石器・食糧生産

気候変動（冷涼・湿潤→高温・乾燥）

動植物と狩猟採集民の河川やオアシスなどの水辺に集住

共生関係の発生

2. 核地帯仮説

ブレイトウッド

12000 年間気候変動は生じなかった

核地帯：栽培家畜化される野生種の動植物が存在

B. ストレスモデル

狩猟採集経済の再評価

従来の説・・・慢性的な食糧不足と不安定な食糧事情

→安定した食糧供給と十分な食糧の確保

→農耕の始まり

農耕民中心主義のモデル

アポリジニの研究・・・4～5 時間という平均労働時間で、十分な
食糧を獲得

乾燥ステップ地帯・・・女性による 6 時間の食糧採取で 3 日分の家
族が養える

狩猟は食糧確保というよりは余暇

狩猟採集民像の転換

狩猟採取経済の高い生産性

旧説：狩猟採集民・・・野蛮・不安定で不足がちな食糧環境

農耕民・・・文明的・安定し十分な食糧環境

新説：狩猟採集民・・・多様な食糧環境・十分な余暇

農耕民・・・選択された食糧環境・ハードな労働

問題の発生

何故軽度な労働による狩猟採集生活から重度の労働を伴う
農耕を選択したのか？

ストレスモデルはその転換の動機を説明しようとする

3. 人口圧仮説（マージナリティ・セオリー）

ビンフォード

限界に達した人口密度

周辺部への移住

人口と食糧資源の不均衡

農耕・牧畜の開始

フラナリー

広範囲生業を想定

最適地域と同じ自然環境を人工的に作り出す

4. その他のストレスモデル

気候変動による環境悪化

食糧資源の減少

社会的圧力の増大

→食糧生産への圧力の増大

C. 現代のモデル

5. 進化論モデル

植物を栽培種化するプロセスを扱う

ネオ・ダーウィニズム

ヒッグスやジャーマン

農耕の開始は人類史上の大変革ではなく、人間と動植物との共生関係の一つの選択肢にすぎない (10)

リンドス、ハリスとヒルマン

農耕をもたらした生態学的条件を追及

野生種のアインコルン小麦の 1/4 を播き続ける

数十年で野生種のアインコルン小麦は栽培種化する

すべて食べてしまうと栽培種化をもたらさない

→穀物収穫法の違いと食習慣の違いを探求

6. 社会的要因モデル

ヘイドン

人間社会側の変化が農耕をもたらす

祝祭的饗宴

特権的・欠乏しやすい植物の栽培

食糧の枯渇・人口圧・栄養不足は農耕にはならない

実際には穀物や豆類が栽培され、非特権的な植物

7. 多数説

レヴァント地方 (ヨルダン川渓谷～ユーフラテス中流域) : 農耕文化の形成

PPNA 直前 : 温帯性常緑樹林の拡大

ナトゥーフ文化 : 定住型狩猟採取

多種多様なエンメル小麦や大麦を含む動植物を採取

農耕文化への転換を促したストレス

ナトゥーフ後半期 : 人口密度の高まり

ヤングドリユアス (前 9000 年頃に始まる) : 寒の戻り

ナトゥーフ人のレヴァント回廊への集中

資源ストレスを促進

対応手段としての農耕の開始

PPNA 初 (前 8300 年頃) : 農耕の開始

PPNB 中 (前 7000 年頃) : 西アジアでの農耕の確立

世界各地の一次的農耕起源地の共通点

農耕開始以前から植物の利用は重要であった

農耕は豊かな資源に囲まれたより複合的な狩猟採集民社会の中から出現
(定住生活の始まりと同時)

専門的栽培から農耕へと転化した主要植物は、主として種子植物

Esp. 穀物と豆類が重要な栽培植物

栄養的、嗜好的、貯蔵性、生産性